



TSUNAGU

小から中への滑らかな接続にむけて

我孫子市教育委員会 小中一貫教育推進室

令和3年6月11日  
我孫子市小中一貫教育だより  
第230号



我孫子市マスコットキャラクター  
「手賀沼のうなぎちゃん」

我孫子市が小中一貫教育で目指す子ども像

- 「ふるさと我孫子」を愛し、誇りに思う子ども
- 確かな学力を身につけ、夢を持ちチャレンジする子ども
- 自分に自信を持ち、自他を大切にする子ども



布佐地区キャラクター  
「ふさだ だしお」

今年度は Abi☆小中一貫カリキュラムの共有授業実践  
についてお伝えしていくうな~!

今年度は、市内全校で、Abi☆小中一貫カリキュラムのうち、「Abi-ふるさと」と「Abi-キャリア」について、共有授業実践に取り組みます。

「Abi-ふるさと」からは「ふるさと我孫子の先人たち」をテーマにした授業実践を、「Abi-キャリア」からは、「職業に関する学習」「いのち・こころ・からだの学習」「食育」の3つのテーマの授業実践を共有授業実践として本紙で紹介していきます。

小中学校間はもちろん、市全体で共有し、Abi☆小中一貫カリキュラムへの理解を深められたらと思います。

今回は、「Abi-キャリア」のうち、我孫子中学校の「食育」に関する授業実践を紹介します。

栄養バランスのとれた給食の献立を考えよう（食育）

6月2日に、我孫子中学校第2学年の家庭科の学習で行われました。

授業は、家庭科担当教員と栄養士のチーム・ティーチングで行われました。学習のテーマは給食の献立づくり。栄養バランスのよい献立をつくるための専門的な知識については、栄養士が説明し、家庭科担当教員がそれを生かして授業を進行します。

子供たちは、普段の食生活を振り返りながら、自分に不足している栄養は何か、中学生に特に必要な栄養は何かなど、今の自分と向き合った上で献立を考えていました。こうした学びが「キャリア教育」につながっています。

給食については、栄養士が費用面や設備、調理方法の制約など、様々な制約の中で必要な栄養とおいしさを求めて作っていることを具体的に説明し、家庭科担当教員からは給食のおぼんの上を想像するとよいことや旬の食材を生かすことなどをアドバイスします。2人の授業者が、それぞれの専門性を生かして多面的に思考できるように連携できることも、チーム・ティーチングの魅力。主体的・対話的な学びのための有効な方法です。

子供たちは、班ごとに、和風、洋風、中華風といった食のテーマを決めて、個々に考えた後グループで話し合います。話し合いの中で、子供たちから「和（風）の中に、洋（風）が入ってもいいかな？」という問いが生まれ、栄養士のアドバイスを受けながら、さらに学びを深めて行く様子が見られました。



2021/06/02



2021/06/02